

【ディプロマポリシー】(卒業認定・学位授与に関する方針)
建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立するに足る十分な教養を身につけること。
2. 外国語によるコミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際社会に貢献できること。
3. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけること。
4. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。
5. 建築学の専門知識・技術にもとづき、時代に応じて変化する建築のあり方を的確に判断できる能力を身につけること。
6. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシーとの対応関係						ナンバリング
						1	2	3	4	5	6	
共通教養科目	技術と倫理	1年次	2単位	選択科目	グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことが目標である。	○						112
共通教養科目	環境と社会	1年次	2単位	選択科目	人類が手にした科学と技術の発達が今日の豊かさをもたらした反面、多くの環境問題を引き起こしている。人間と自然との問題を考え、経済・社会のあり方を今一度見直すことを目指す。	○						112
共通教養科目	資源とエネルギー	2年次	2単位	選択科目	資源、エネルギー問題について、科学的に正しい認識を持つと共に、自らの意見を述べ、議論できる力を持てるようになることを目標とする。	○						122
共通教養科目	企業倫理と知的財産	3年次	2単位	選択科目	知的財産制度の産業上の意味と内容についてよく理解する。企業倫理について理解を深める。	○						132
共通教養科目	国際経済と企業の国際化	1年次	2単位	選択科目	1. 第2次世界大戦以降の国際経済の変遷と現状について説明できる。2. 国際経済に関する諸概念について説明できる。3. 国際化する生産要素や情報に対する企業戦略について説明できる。4. 経済統合・国際協調の重要性について説明できる。	○						112
共通教養科目	メディアの読み方	3年次	2単位	選択科目	情報の本質を理解する視点とスキルを学び、「聞く」「話す」「読む」「書く」技術を身につけます。	○						131
共通教養科目	キャリアデザイン	3年次	2単位	選択科目	「会社と自分との接点」「仕事と自分との接点」を見出すことを前提に、それぞれを表現する手法の習得を目標とする。	○						131
共通教養科目	プレゼンテーション技術	3年次	2単位	選択科目	・聞き手と相互理解し、聴き手の立場に立った適切な応答が行えるコミュニケーション能力を身につける・プレゼンテーションの重要性・必要な能力を理解して、聴き手の納得を得ることの出来るプレゼンテーションが実施できるようになる・視覚的効果に配慮した分かりやすいプレゼンテーション補助資料が作成できるようになる	○						132
共通教養科目	自校学習	1年次	1単位	選択科目	近畿大学の歴史と伝統および今後の展望を知り、大学の一員としての自覚と誇りをもつことができる。自ら学ぶ意欲と習慣を身につけ、大学生活を設計する。	○						111
共通教養科目	基礎ゼミ1	1年次	2単位	必修科目	建築学を学ぶにあたって、習得する知識の領域や専門性を把握し、自ら問題意識を持って科学的に分析する姿勢を身につけることを目標とする。建築学部の学習・教育目標の(D)自発的・主体的な学習に主に対応するが、(E)数学・物理・情報処理の基礎にも対応する。	○						111
共通教養科目	基礎ゼミ2	1年次	2単位	必修科目	建築学を学んでいくに当たり、将来どの分野を目指して知識を習得していけばよいのか、また、問題意識を持ちながらどのように学習していけばよいのかなどについて、各分野を横断的に学習し考察を重ねる。少人数形式において、専門科目の内容とそれぞれの関連性について学ぶ。	○						112
共通教養科目	日本語の技法	1年次	2単位	選択科目	構成の整った、説得力のあるレポートの作成方法、文章表現を学び、将来の技術者、社会人にふさわしい日本語表現能力を身に付ける。	○						112
共通教養科目	暮らしのなかの憲法	2年次	2単位	選択科目	上記の授業概要に示した内容を理解することによって、各国の民主主義と人権の歴史及びわが国の統治機構の仕組みを学び、もって憲法及び民主主義の理解に資することを学習・教育及び到達目標と致します。	○						122
共通教養科目	住みよい社会と福祉	2年次	2単位	選択科目	1)自分自身や家族、地域、社会に存在している様々な「生きづらさ」に気づくことの出来る視点を養います。2)どのような原因によってこれらの「生きづらさ」が生じているのか、多角的に捉えることができる視点を養います。3)生活の「生きづらさ」に立ち向かうための身近な福祉に関する知識の獲得します。4)福祉の視点と知識をもって、住みよい社会を支えていくために必要な価値観について考えます。5)上記の学習目標を達成するため、マクロの観点からの社会保障とミクロの観点からの社会福祉について考察します。	○						121
共通教養科目	現代社会と法	1年次	2単位	選択科目	法についての基本的な知識を理解していただくとともに、法的思考力を修得していただくことが目標です。	○						112
共通教養科目	国際社会と日本	1年次	2単位	選択科目	「人と社会」を地球的視野で観ることと、判断をすることができる。	○						112
共通教養科目	国際化と異文化理解	1年次	2単位	選択科目	受講生の異文化に対する総合的な感受性の向上を図ります。	○						111
共通教養科目	人権と社会1	2年次	2単位	選択科目	人ごと意識を払拭し、人間の普遍的価値である人権を、自分の生き方と結びつけて考えるとともに、人が人間らしく生きるために他者とのつながりが不可欠なものであることを実感し、人々が共生できる豊かな社会の実現をめざす態度を身につける。	○						121
共通教養科目	健康とスポーツの科学	1年次	2単位	選択科目	日々の健康・体力作りやスポーツパフォーマンス向上に役立てる科学的基礎知識を養うと共に積極的に参加実行できることとする。	○						111
共通教養科目	人権と社会2	2年次	2単位	選択科目	差別問題を人権の視座から捉える視点を育む	○						122
共通教養科目	ビジネスモデルとマネジメント	1年次	2単位	選択科目	受講者は、この授業を履修することによって 1)ホテルビジネスをサンプルとしてビジネスの仕組みを理解し 2)マーケティングにおける組織内外の顧客へのコミュニケーション活動の大切さを認識し 3)ホスピタリティ・マインドに対する造詣を深める事が出来るようになります。	○						111
共通教養科目	生涯スポーツ1	1年次	1単位	選択科目	健康の維持・増進、体力・運動能力の向上とその意義についての科学的理論を理解し、各種スポーツの基本的運動技術・技能・ルールを学ぶことによって、自らすすんで運動・スポーツを楽しむことのできる態度を養い、生涯にわたり健康的な生活を営む能力の獲得を目指します。生涯スポーツ1の学習内容は、生涯スポーツ2と比較し、より基礎的・一般的なものを選びます。	○						111

【ディプロマポリシー】(卒業認定・学位授与に関する方針)
建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立するに足る十分な教養を身につけること。

2. 外国語によるコミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際社会に貢献できること。

3. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけること。

4. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。

5. 建築学の専門知識・技術にもとづき、時代に応じて変化する建築のあり方を的確に判断できる能力を身につけること。

6. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシーとの対応関係						ナンバリング
						1	2	3	4	5	6	
共通教養科目	生涯スポーツ2	1年次	1単位	選択科目	健康の維持・増進、体力・運動能力の向上とその意義についての科学的理論をより深く理解し、各種スポーツの専門的運動技術・技能・ルールを学ぶことによって、自らすすんで運動・スポーツを楽しむことのできる態度を養い、生涯にわたり健康的な生活を営む能力の獲得を目指します。生涯スポーツ2の学習内容は、生涯スポーツ1と比較し、より専門的なものを扱います。	○						112
外国語科目	英語演習 1	1年次	1単位	必修科目	受講者はこの授業を履修することによって、 －プロジェクトの成果を英語で口頭発表することができる。 －プロジェクトの成果を英語でまとめることができる。 －自身のプロジェクトに関する質問に対して英語で応答することができる。 －他者のプロジェクトに関心を持ち、英語で質問することができる。		○					111
外国語科目	英語演習 2	1年次	1単位	必修科目	受講者はこの授業を履修することによって、 －プロジェクトの成果を英語で口頭発表することができる。 －プロジェクトの成果を英語でまとめることができる。 －自身のプロジェクトに関する質問に対して英語で応答することができる。 －他者のプロジェクトに関心を持ち、英語で質問することができる。		○					112
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A1	1年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。		○					111
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A2	1年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。		○					112
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B1	1年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。							111
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B2	1年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-4/K-3、上位クラスではK-2/K-1の内容を到達目標とする。							112
外国語科目	留学英語	1年次	1単位	選択科目	実践的な場面での語学力の向上を目指し、また、異文化体験を通して国際感覚の養成し、豊かな人間性を養うことを目指す。							112
外国語科目	英語演習 3	2年次	1単位	必修科目	3～5名程度のグループを組み、共通の興味・関心・問題意識をテーマとして議論することができること、および、グループ・プロジェクトの成果を、ディベートやパネルディスカッションなどのスタイルで英語で口頭発表して、プロジェクトの成果をグループとして1つのアカデミック・ライティングにまとめことを目標とする。		○					121
外国語科目	英語演習 4	2年次	1単位	必修科目	アカデミック・ライティングの基本的な構造、表現を使って、各自のプロジェクトの成果を英語でまとめ、また、口頭発表することができることを目標とする。		○					122
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A3	2年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-3、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。		○					121
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ A4	2年次	1単位	必修科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-3、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。		○					122
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B3	2年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-3、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。		○					121
外国語科目	イングリッシュ・スキルズ B4	2年次	1単位	選択科目	「近大Can-Do枠組み」のKindaiレベルのうち、下位クラスではK-3、上位クラスではK-1の内容を到達目標とする。		○					122
外国語科目	英語演習 5	3年次	1単位	選択科目	受講者はこの授業を履修することによって、 －プロジェクトの成果を英語でポスター発表することができる。 －プロジェクトの成果をアカデミック・ライティングとして英語でまとめることができる。 －受講生各自の専門分野の語彙、表現を使えるようになる。		○					131
外国語科目	英語演習 6	3年次	1単位	選択科目	受講者はこの授業を履修することによって、 －受講生各自の専門分野で必要な英語コミュニケーションのパターンと特徴を分析し、その応用力を養う。 －専門分野において、自分の考えを英語でコミュニケーション出来る力をつける。		○					132
外国語科目	ドイツ語総合1	1年次	1単位	選択科目	受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定5級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。		○					111
外国語科目	ドイツ語総合2	1年次	1単位	選択科目	受講者は、「読む」「書く」「聴く」「話す」能力を総合的に養い、実際に使えるドイツ語を目指し、ドイツ語検定5級に相当する語彙と表現を習得し、初歩的なドイツ語を理解する力をつけます。		○					112
外国語科目	フランス語総合1	1年次	1単位	選択科目	受講者は、フランス語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的なコミュニケーションが図れるようになります。またフランスの言葉と文化への理解を深め、より広い国際感覚を養うことができます。		○					111
外国語科目	フランス語総合2	1年次	1単位	選択科目	受講者は、フランス語を聞き、話し、読み、書くことに慣れ親しみ、初歩的なコミュニケーションが図れるようになります。またフランスの言葉と文化への理解を深め、より広い国際感覚を養うことができます。		○					112
外国語科目	韓国語総合1	1年次	1単位	選択科目	受講者が韓国語の文字を読み、書くことができ、さらにあいさつや自己紹介など簡単なコミュニケーションができるようになることを目指します。		○					111
外国語科目	韓国語総合2	2年次	1単位	選択科目	語彙と文法をバランスよく学び、受講者が初級段階のコミュニケーションができるようになることを目指します。		○					112
外国語科目	中国語総合1	2年次	1単位	選択科目	「総合2」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。		○					111
外国語科目	中国語総合2	2年次	1単位	選択科目	「総合1」と併せて、中国語検定準4級程度の基本語彙と文法力を身につけます。		○					112
外国語科目	ドイツ語総合3	2年次	1単位	選択科目	「総合1・2」で学んだドイツ語の知識をもとに、さらにドイツ語の表現力や応用力を養い、簡単な会話や文章が理解できる力をつけましょう。		○					121

【ディプロマポリシー】(卒業認定・学位授与に関する方針)
建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立するに足る十分な教養を身につけること。

2. 外国語によるコミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際社会に貢献できること。

3. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけること。

4. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。

5. 建築学の専門知識・技術にもとづき、時代に応じて変化する建築のあり方を的確に判断できる能力を身につけること。

6. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシーとの対応関係						ナンバリング
						1	2	3	4	5	6	
外国語科目	ドイツ語総合4	2年次	1単位	選択科目	「総合1・2」で学んだドイツ語の知識をもとに、さらにドイツ語の表現力や応用力を養い、簡単な会話や文章が理解できる力をつけましょう。		○					122
外国語科目	フランス語総合3	2年次	1単位	選択科目	受講者は、フランス語の文法知識を深めながら、フランス語を使っていろいろな表現ができるようになる。また身の回りの直接的なことからについて、フランス語で理解し説明したりできる能力を身に付けることができる。		○					121
外国語科目	フランス語総合4	2年次	1単位	選択科目	受講者は、フランス語の文法知識を深めながら、フランス語を使っていろいろな表現ができるようになる。また身の回りの直接的なことからについて、フランス語で理解し説明したりできる能力を身に付けることができる。		○					122
外国語科目	韓国語総合3	2年次	1単位	選択科目	受講者がハングル能力検定試験5級から4級程度の文法項目と語彙を身につけることを目指します。		○					121
外国語科目	韓国語総合4	2年次	1単位	選択科目	受講者がハングル能力検定試験5級から4級程度の文法項目と語彙を身につけることを目指します。		○					122
外国語科目	中国語総合3	2年次	1単位	選択科目	総合3と4の両方を履修することにより、中国語検定4級程度の常用語彙と文法力を身につけます。		○					121
外国語科目	中国語総合4	2年次	1単位	選択科目	総合3と4の両方を履修することにより、中国語検定4級程度の常用語彙と文法力を身につけます。		○					122
専門科目	情報処理基礎	1年次	1単位	必修科目	学習・教育目標(E)数学・物理・情報処理の能力に主体的に関与 1. Microsoft Officeアプリケーションの基本的な操作方法を身に付けることができる。(Word／Excel／PowerPointを用いてビジネス文書の作成、関数やグラフを使った表作成、スライドによる資料作成レベル) 2. コンピュータの構成などIT基礎知識の習得、インターネット／SNSのメリットデメリットを理解し、適切な利用方法を身に付けることができる。3. 情報セキュリティの重要性を理解し、さらに個人情報の取り扱いや著作権等の基本的なルールを身に付けることができる。4. KudosKnowledge(e-ラーニング)を活用し、自らアプリケーション操作に関するスキルアップを図ることができる。5. 情報倫理についての知識を身につけ、解決策を提示することができる。			◎				211
専門科目	建築概論	1年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(G)建築図面のリテラシーに主に対応する。到達目標 は、 1. 一つの建築が出来上がるまでの過程に関わってくる全てのことについてその概略を理解する。2. 現代の建築の様々な様相とそれに至る歴史を概略理解する。 3. 建築に対して興味を持ち今後自ら積極的に建築を学んでいけるようになる。			◎				211
専門科目	基礎製図	1年次	3単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(G)(建築図面のリテラシー)建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養うに対応する。到達目標は、①建物の構成を理解する。②文字と数字を丁寧に書けるようになること。③線の種類別に引けるようになること。④製図記号を理解する。⑤平面図、断面図、立面図などの違いを理解する。⑥模型制作技術を修得する。の6点である。			◎				211
専門科目	スケッチ表現	1年次	2単位	選択科目	建築空間や形態の基礎的な表現方法の習得とドローイングや模型制作を通じて、建築が創造的行為であることを学ぶ。			○				211
専門科目	基礎数学	1年次	2単位	必修科目	(E)「数学・物理・情報処理の能力」建築を学ぶ上で必要となる数学・物理・情報処理の基礎知識を身につける。			◎				211
専門科目	物理学及び演習	1年次	3単位	必修科目	建築学部の学習教育目標のうち(E)数学・物理・情報処理の能力に対応します。建築を学ぶ上で必要となる物理の基礎知識を身につける。			◎				211
専門科目	情報処理実習1	1年次	1単位	選択科目	1. データの流れを理解し、アルゴリズムを組み立てることができる。2. コーディングマナーを守り、可読性の高いプログラムを書くことができる。3. プログラムの動作チェックのための適切なテストデータを考えることができる。到達目標:C言語プログラミングの基礎的な分野を学習し、「基本情報技術者試験」に対応できるようにすることが第一の到達目標である。同時に、近い将来、必要に迫られたとき、プログラミングを自在に行えるようにすることが第二の目標である。			○				211
専門科目	建築基礎演習	1年次	3単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(G)(建築図面のリテラシー)建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養うに対応する。到達目標は、3次元の作図方法の修得、建築に関する製図図法の修得、建築物に対する総合的な理解の3点である。			◎				212
専門科目	3D・CAD演習	1年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(G)(建築図面のリテラシー)建築の共通言語である図面の読み書きに必要な技術と能力を養うに対応する。到達目標は、1. 画面が操作できる。2. 頂点・エッジ・面の移動・拡大ができる。3. プッシュ・プル、フォーローミーなど変形コマンドが使える。4. 2次元から3次元に起こせる。5. 地図情報とのリンクができる。6. マテリアル・コンポーネントを使うことができる。7. 建築物の外形を表現できる。8内部空間を含めた小規模建築物の設計ができる。			◎				212
専門科目	建築構法	1年次	2単位	必修科目	建築構造の基礎に主に対応する。コンクリート造、鉄骨造、組積造、木質構造など様々な構法の名称、概要を修得すること及び構成部材の名称、使用材料の名称などを基礎知識として修得することを目標とする。			◎				212
専門科目	数学概論	1年次	2単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標(E)数学・物理・情報処理の能力に主に対応する。到達目標は、1)色々な対象に共通な要素を取り出し、ひとまとめにし、統一して理解する力を身につける 2)抽象化したものについて、具体的に計算する能力を身につける			○				212
専門科目	情報処理実習2	1年次	1単位	選択科目	1. 問題解決のために提示された「アルゴリズムとデータ構造」が理解できること。2. 問題解決のために「最適なアルゴリズムとデータ構造」を自力で作成できる力を養う。到達目標:論理的思考回路の強化。			○				212
専門科目	静定構造力学1	1年次	2単位	必修科目	学習・教育目標「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、 1、建築構造に関する基本的な力学的知識を理解する。 2、構造にかかる荷重(外力)と構造物内部の力の流れ(応力)を理解する。 3、簡単な構造物(静定構造物)の応力解析ができる。 4、一級建築士試験に出題される関連問題と同程度の難易度の問題を解ける。				◎			211

【ディプロマポリシー】(卒業認定・学位授与に関する方針)
建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立するに足る十分な教養を身につけること。

2. 外国語によるコミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際社会に貢献できること。

3. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけること。

4. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。

5. 建築学の専門知識・技術にもとづき、時代に応じて変化する建築のあり方を的確に判断できる能力を身につけること。

6. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシーとの対応関係						ナンバリング
						1	2	3	4	5	6	
専門科目	静定構造力学演習1	1年次	1単位	選択科目	「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、 1、静定構造物の力の流れを理解する。 2、静定構造物の応力などの解析ができる。 3、一級建築士試験問題と同程度の難易度の問題を解ける。				○			211
専門科目	環境工学概論	1年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(F)建築工学の基礎的理解に主に対応する。付随的に(C)専門家倫理、(D)自発的・主体的な学習にも対応する。 到達目標は、持続可能な社会における建築の位置付けと、この中での環境工学(建築環境・設備)の役割を理解すること。建築諸条件と人との関連、これに立脚した音・熱・光・空気などの建築環境工学の対象要素と技術を理解する。				◎			211
専門科目	建築設計概論	1年次	2単位	必修科目	図面を読む力と、公共性や機能、動線など建築設計における基本的な概念とボキャブラリーに関する知識の習得と、今後の設計演習のための設計手法の基礎を学ぶ。				◎			211
専門科目	静定構造力学2	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、 1、建築構造に関する基本的な力学的知識を理解する。 2、断面の諸常数の計算ができる。 3、静定構造物の応力解析に基づいて応力検定ができる。 4、複合応力に対する主応力の計算や座屈の計算ができる。 5、静定梁のたわみの計算ができる。 6、一級建築士試験に出題される関連問題と同程度の難易度の問題を解ける。				◎			321
専門科目	静定構造力学演習2	2年次	1単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標「建築工学の基礎的理解」に対応する。到達目標は、 1、建築構造に関する基本的な力学的知識を理解する。 2、断面の諸常数の計算ができる。 3、静定構造物の応力解析に基づいて応力検定ができる。 4、複合応力に対する主応力の計算や座屈の計算ができる。 5、静定梁のたわみの計算ができる。 6、一級建築士試験に出題される関連問題と同程度の難易度の問題を解ける。				○			321
専門科目	音・光環境	2年次	2単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標の(F)建築工学の基礎的理解に対応する。建築計画に際して考慮すべき音・光環境の問題とその解決方法の基本を理解する。				◎			321
専門科目	住宅計画	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(H-1)設計・計画、(J-1)住宅と社会に主に対応する。付随的に(C)専門家倫理にも対応する。 到達目標は、1. 住宅の成り立ちを理解する。2. ライフスタイル・ライフサイクルと住空間の関係を理解する。3. 各室の機能構成を理解する。4. 地球環境と住宅の関係を理解する。5. 住宅建築と防災・防犯との関係を理解する。6. 高齢化社会と住宅の関係を理解する。7. 住宅を計画することが出来る。				◎			321
専門科目	設計演習 I	2年次	3単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(G)建築図面のリテラシーに主に対応する。到達目標 は、1.図面や模型などの建築の表現手段を身につける。2.動線計画やゾーニングなどの計画手法をマスターする。3.三次元の空間をイメージする能力を身につける。4. コンセプト(デザインの方針を定める着想)の構築が、建築の形態や空間につながることを体験的に理解する。				◎			321
専門科目	建築設計論	2年次	2単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標(G)建築図面のリテラシーに主に対応する。到達目標は、現代建築の様々な様相とそれに至る歴史を概略理解することと、建築に対して興味を持ち今後自ら積極的に建築を学んでいけるようになることである。				◎			321
専門科目	2D・CAD演習	2年次	2単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標(E)数学・物理・情報処理の能力に主に対応する。到達目標 ①記述能力、描画能力を通して、アイデアを具体化する能力を養う。②コンピュータを使ったビジュアルデザインによって設計意図を明確化し、設計・計画の質を向上させる能力を養う。③基本的な2次元CADの技法を習熟し、3級CAD検定試験に合格できる実力を付ける。				○			321
専門科目	不静定構造力学	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標「(F) 建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身につける。」に主に対応する。教育目標は、以下の通り。1. 一級建築士、二級建築士の試験に出てくる部材の変形計算、応力法による不静定構造力学の問題が解けるようになること 2. 実社会に出て設計や施工管理に携わるときに必要な基本的な構造力学の知識を習得できること				◎			322
専門科目	建築材料	2年次	2単位	必修科目	本講座を受講することによって1)建築における材料の重要性の理解2)建築材料の多様さを理解3)建築材料に関する選定についてその基礎的能力の獲得を目指す。建築学科の学習教育目標である「建築材料・生産の基礎」に主に対応する。				◎			322
専門科目	不静定構造力学演習	2年次	1単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標「(F) 建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身につける。」に対応する。教育目標は、以下の通り。1.一級建築士、二級建築士の試験に出てくる部材の変形計算、応力法などによる不静定構造力学の問題が解けること。2.実社会に出て設計や施工管理に携わるときに必要な構造力学の知識を習得すること。				○			322
専門科目	熱・空気環境	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(F)(建築工学の基礎的理解)に主に対応する。教育目標は、1.熱環境と空気環境の目的を理解する。 2.熱・空気環境の基礎理論を理解する。 3.基礎理論をもとに建物の熱と空気環境の予測手法を習得する。 4. 熱・空気環境の種々問題に対する解決法を学ぶ。具体的には、熱については小規模建物の熱損失係数の算出、空気については、ダクト換気設計手法の基本の習得を到達目標とする。				◎			322
専門科目	建築計画総論	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(F)建築工学の基礎的理解(G)建築図面のリテラシーに主に対応する。付随的に(C)専門家倫理にも対応する。 到達目標は、1.建築計画の方法に関する知識を習得する。2.建築デザインの具現化のための幅広い応用力を養う。3.建築物の社会的な影響について、建築の性能評価の観点から理解する。				◎			322

【ディプロマポリシー】(卒業認定・学位授与に関する方針)
建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立するに足る十分な教養を身につけること。

2. 外国語によるコミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際社会に貢献できること。

3. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけること。

4. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。

5. 建築学の専門知識・技術にもとづき、時代に応じて変化する建築のあり方を的確に判断できる能力を身につけること。

6. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択 の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシーとの対応関係						ナンバリング
						1	2	3	4	5	6	
専門科目	アーバンデザイン	2年次	2単位	必修科目	建築学部の学習・教育目標(H-1)設計・計画ならびに(I-2)デザイン理論と表現技術、(J-2)住宅とまちなみ、(K-3)都市・まちづくりに対応する。アーバンデザインについて、その基本的考え方について理解するとともに、みずからデザインできるための基礎的素養を身につける				◎			322
専門科目	設計演習Ⅱ	2年次	3単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標(G)の建築図面のリテラシーと(H-1)の設計・計画の知識習得に対応する。到達目標は、1. 動線計画やゾーニングなどの機能的計画手段をマスターする。2.設計条件を整理し、デザインを具体化する能力を習得する。3.三次元の空間をイメージする能力を身につける。4.コンセプトをまとめながら、それが形態や空間につながることを理解する。				◎			322
専門科目	近代建築史	2年次	3単位	必修科目	学習教育目標の(H-1)新しい時代に即した住まい方や使い方に対応できる設計・計画の知識を習得する。(I-3)人類がこれまでに創造した美術や技術の様式や形式に基づいて設計できる能力を養う。(J-2)景観や都市デザインとの関係に基づき、永く人々を魅了し愛される存在となるまちのあり方について考えることのできる能力を養う。(K-3)個々の建築物のあり方を都市やまちとともに考えられる能力を養う。に対応する。				◎			322
専門科目	コンクリート構造	3年次	2単位	必修科目	到達目標は、近代における建築と都市を芸術的、社会的、技術的な観点から理解する。 建築学部教育目標(F)(建築工学の基礎的理解) 建築の基礎となる構造・環境・生産の基礎知識を身につける。					◎		431
専門科目	鋼構造	3年次	2単位	必修科目	1. 鉄筋コンクリートの基礎原理を理解する。2. 鉄筋コンクリート部材の設計手法(具体的な計算方法)を学ぶ。3. 鉄筋コンクリート構造の耐久性について学ぶ。4. 鉄筋コンクリート構造以外のコンクリート構造の特徴について理解する。					◎		431
専門科目	木質構造	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習教育目標(F)建築工学の基礎的理解に対応する。具体的には、許容応力度設計法に基づく構造計算の考え方と手順を理解する。					○		431
専門科目	建築設備概論	3年次	2単位	必修科目	木造住宅の構造、木材の性質、建築基準法の壁量計算、および、偏心率による構造計画を理解する。					◎		431
専門科目	環境演習	3年次	2単位	選択科目	建築学科の学習・教育目標(H-2)構造・環境・生産に主に対応する。付随的に(D)自発的・主体的な学習に対応する。					○		431
専門科目	建築計画各論	3年次	2単位	必修科目	到達目標は、 1.住宅の暖房負荷の計算と負荷に及ぼす各要素の影響を理解する。 2.自然換気計算と換気量の評価について理解する。 3.室内騒音レベルの計算と騒音対策について理解する。 4.昼光率の計算と昼光照明の評価について理解する。					◎		431
専門科目	現代都市計画	3年次	2単位	選択科目	学習・教育目標 (H-1)(設計計画) 新しい時代に即した住まい方や使い方に対応できる設計・計画の知識を習得する。(I-2)(デザイン理論と表現技術) 多角的にデザイン理論を学ぶとともに、自らの構想をわかりやすく直観的に多くの人に伝える能力を養う。(K-1)(建築プロジェクトの企画力) 時代の変化を読み取り、社会・経済状況を踏まえながら地域にとって必要とされる建築プロジェクトを企画できる能力を養う。到達目標は、1. 建築の機能性や快適性に関する知識と手法の習得。2. 建築の設計に応用できる能力の育成である。					○		431
専門科目	設計演習Ⅲ	3年次	2単位	必修科目	学習・教育目標(H-1)設計・計画、(J-1)住宅と社会、(J-2)住宅とまちなみ、(K-3)都市・まちづくりに対応。 建築学科の学習教育目標である「創造性と問題解決」に対応する。・各課題共有の到達目標は以下の通りである。1、設計に際し留意すべき条件(構造、環境設備、法規)を把握する。2、建築の設計条件に対する合理的かつ提案的解決を示す。3、建築の形態デザインの構成原理を習得する。・選択課題ごとの到達目標は以下の通りである。選択課題A 1、様々な機能を整合性を持たせて解決する。2、内部空間とともに複数の棟によって外部空間の適切な構成を行う。選択課題B 1、福祉施設の知識の習得。2、様々な機能を整合性を持たせて解決する。3、内部空間と外部空間を適切に構成する。選択課題C1、展示施設の基礎知識の習得2、敷地条件、環境条件を踏まえたプランニング、形態、および空間構成の可能性を追求し、自由な発想のもとに設計を進める。					◎		431
専門科目	日本建築史	3年次	2単位	選択科目	建築工学専攻の学習教育目標(H-1)設計・計画の専門的知識に対応する。建築デザイン専攻では学習教育目標(I-3)の人類が創造した美術や技術の様式や形式を学ぶことに対応する。 到達目標は、1. 古代神社建築の形式を知り、その形から日本古来の建築技術・デザインの特徴を知る。 2. 寺院建築がもたらした外来の建築技術・デザインを知り、その後の展開・発達を知る。 3. 近代にまで継承された伝統的な住宅建築の特徴についてその成立を知る。					○		431
専門科目	建築施工	3年次	2単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標である「建築材料・生産の基礎」に主に対応する。(1)建築施工の全体像の把握 (2)各工種別施工内容・要領・管理ポイントについての基礎知識を培う (3)施工管理の実践にあたる予備知識の修得をすることを目指す					◎		432
専門科目	建築地盤・基礎構造	3年次	2単位	選択科目	1. 建築基礎計画・設計に関わる法規制を理解する。2. 地盤の種類と調査試験法、及び特性と地盤評価について理解する。3. 基礎の種類と計画及び施工法、品質管理、積算等を理解する。4. 基礎の設計ができる。					○		432

【ディプロマポリシー】(卒業認定・学位授与に関する方針)
建築学部では、21世紀における社会の変化の中で建築のあり方を継続的に探求できる人材を輩出するため、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(建築学)の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1. 幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立するに足る十分な教養を身につけること。

2. 外国語によるコミュニケーション能力とグローバルな視点を持ち、柔軟な思考・発想で国際社会に貢献できること。

3. 「建築図面を読み描きする能力」を身につけること。

4. 「つくり・守り・育てる」建築学を理解し、幅広い建築関連分野で活躍できる専門知識・技術を修得すること。

5. 建築学の専門知識・技術にもとづき、時代に応じて変化する建築のあり方を的確に判断できる能力を身につけること。

6. 社会の課題や問題を、建築学の専門知識・技術にもとづき高い倫理観をもって創造的に解決する能力を身につけること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシーとの対応関係						ナンバリング
						1	2	3	4	5	6	
専門科目	コンクリート構造演習	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習教育目標(F)コンクリート構造の授業で学んだ知識をもとに、鉄筋コンクリート(RC)の構造設計を、倉庫の設計を通して演習する。RC構造の現行設計ルート、構造解析、梁や柱などの部材設計ならびに配筋図等、構造設計・計算の実際的な過程を順を追って学習する。					○		432
専門科目	鋼構造演習	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習教育目標(H-2)構造・環境・生産に主に対応する。構造の基礎知識に基づき、工学的視点から構造設計に必要な専門知識、能力を養う					○		432
専門科目	建築構造実験	3年次	2単位	選択科目	建築学科の学習・教育目標(L)データの集計・分析・工学的処理に主に対応する。 到達目標は、鉄筋コンクリート構造及び鋼構造の梁の破壊状況を経験し、部材強度算定式の理論と実験結果を比較し、理解を深める。					○		432
専門科目	建築設備各論	3年次	2単位	選択科目	学習・教育目標(H)建築工学専攻は、(H-2)(構造・環境・生産)構造・環境・生産の基礎知識に基づき、工学的視点から構造設計、環境性能・設備計画に必要な専門知識、能力を養う。(I)建築デザイン専攻は、(I-3)(様式や形式)人類がこれまでに創造した美術や技術の様式に基づいて設計できる能力を養う。到達目標は、1. 空調設備と給排水衛生設備についての理解。2. 熱負荷計算法の習得。3. 設備機器容量の算定法の習得。					○		432
専門科目	建築環境実験	3年次	2単位	選択科目	建築学科の学習・教育目標の(H-2)構造・環境・生産に主に対応する。到達目標は、1. 建築環境要素の評価方法および基準を理解する。2. 各環境要素に関して測定を実施しその結果を評価できる能力を身につける。					○		432
専門科目	建築行政	3年次	2単位	必修科目	・建築関連法規の基礎と考え方を理解する・それぞれの法規・条例の背景と理念を理解する・建築士試験への準備段階としての知識を身につける・建築の企画・設計・施工・運営にそれぞれ必要になる法規のポイントを理解する					◎		432
専門科目	西洋建築史	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標の(H-1)設計・計画、(I-3)様式や形式に対応する。到達目標は、西洋建築史の概要を理解し、説明ができる。1. 西洋建築の起源から現代までの意匠、構造、技術を理解する。2. 西洋建築の設計手法と空間の特質を理解する。3. 西洋における建築と都市の関わりと成り立ちを理解する。4. 設計演習、卒業・修士研究／設計に取り組む際に、多くの示唆を与えてくれる参照必須事例についての基礎知識を身につける。					○		432
専門科目	設計演習Ⅳ	3年次	2単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標の(H-1)設計・計画、(I-1)デザイン・プレゼンテーション能力に対応する。到達目標は 1、設計に際し留意すべき条件(構造、環境設備、法規)を把握する。 2、建築の設計条件に対する合理的かつ提案的解決を示す。 3、建築の形態デザインの構成原理を習得する。 4、都市やまちなみなど、都市的な視点から建築を提案する。					○		432
専門科目	ゼミナール演習	3年次	2単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標である「社会的要求水準への対応」に主に対応する。付随的に「自発的・主体的な学習」にも対応する。到達目標は、各ゼミナールでの専門分野を学習して問題意識を深めることによって、卒業研究・卒業設計に着手できる能力を養う。					○	◎	531
専門科目	耐震耐風工学	3年次	2単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標(H-2)(構造・生産・環境)に対応する。 到達目標は、1. 地震荷重を理解する、2. 風荷重を理解する、3. 応答スペクトルと耐震設計の関係を理解する、4. 風による建物振動とその制御を理解する。					◎		432
専門科目	環境設備計画	4年次	2単位	選択科目	建築学科の学習教育目標(K-2)構造・環境の専門的知識に対応する。到達目標は、建築における環境工学の役割を地球環境問題の諸要素と現状対策の背景と共に認識できること。					○		441
専門科目	建築再生論	4年次	2単位	選択科目	学習・教育目標は次の通り 建築工学専攻：(H-1)(設計・計画)新しい時代に即した住まい方や使い方に対応できる設計・計画の知識を習得する。 企画マネジメント専攻：(K-2)(建築マネジメント)建築ストックを良好に維持管理するとともに、それらを守り・育て・活用してゆく能力を養う。 到達目標は 1. 建築をとりまく社会的な問題に関心をもつ。2. 改築独特の課題を理解する。3. 改築独特の課題解決技術を理解する。					○		441
専門科目	建築総合演習	4年次	2単位	選択科目	設計を通じた全科目の統合的な科目であるため、各専攻の学習教育目標に対応する。					◎	○	541
専門科目	卒業研究・設計	4年次	8単位	必修科目	建築学科の学習・教育目標(14)および(5)に主に対応する。 到達目標は、社会から要請される専門分野としての力量を身につけることをめざす。						◎	541
専門科目	インターンシップ	3年次	2単位	選択科目	社会的要求水準への対応 建築学部の学習・教育目標である社会的要求水準への対応に対応する。到達目標は以下である。(1)受講者がこの科目を通して自らの職業観を確立できること。(2)自分が学んでいる学問の意義を十分理解し、自主性を備えた人材に成長すること	○	○	○	○	○	○	531
専門科目	社会奉仕実習	3年次	1単位	選択科目	建築学部の学習・教育目標である社会的要求水準への対応に対応する。(1)受講者がこの科目を通して倫理観や社会貢献の精神、公共性や社会性の意識を身につけることを目標とする。	○	○	○	○	○	○	531